

はと組

— 2学期目標 —

- ◎ 自分の気持ちを言葉で伝え、多くの友だちと関わろうとする
- ◎ 秋の自然に触れ合いながら、楽しく様々な活動に参加する

— 活動内容 —

大きいな！おいもだいさくせん

(健康な心と身体、共同性、思考力の芽生え、豊かな感性と表現)

- ・『おいもだいさくせん』の絵本を読むと大きなお芋を見て「すごい！」「大きいなあ」と驚いている様子だった。
- ・「大きいお芋作ってみたい」という子ども達の声から一人一つお芋を作ることになった。
- ・新聞紙をちぎり、紫色のポリ袋に入れてお芋を作った。新聞紙を沢山ちぎっていく中で、新聞紙の上に寝転び「プールみたい」と言って泳いでいる子どもの姿が見られた。
- ・運動会では自分たちで作った大きなお芋をビニールプールの畑から引っ張り出して一生懸命運んでいる姿が見られた。
- ・運動会後も『おいもだいさくせん』読んでという声が多くあり、子ども達が大好きな絵本の一つになった。



おともだちとあそぼう♪

(健康な心と身体、自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・二学期に入り、子どもたち同士の関わりが増え、「一緒に遊ぼう」「いいよ」という会話のやり取りが増えたように感じた。
- ・室内では赤ちゃんごっこや家族ごっこをしている子どもが多く、お互いに役名で呼び合っている姿が見られる。戸外では鬼ごっこをしている姿が見られた。
- ・二学期後半は年中・年長クラスで流行っていた『中あて』をしている姿も見られた。ルールが難しく、トラブルになることもあったが、お互いに確認し合いながら遊んでいる姿が見られた。



— 2学期の反省 —

- ・ 子どもたち同士の関わりが増え、遊びの幅が広がってきた。しかし、意見がぶつかったり思い通りにいかずトラブルに繋がったりすることもあるため、自分の気持ちを言葉で伝える練習を引き続き行っていきたい。
- ・ 季節の生き物や自然に興味を持ち観察したり実際に触れたりしている姿が見られた。子ども達の興味関心を生かした活動を増やしていきたい。

— 3学期の目標 —

- ◎ 基本的習慣を身に着け、身の回りのことを自分でしようとする。
- ◎ 自分の気持ちを言葉で伝え、相手の気持ちを聞き、理解しようとする。